



東大和病院

Higashiyamato Hospital

医師募集概要

RECRUIT
INFORMATION
FOR DOCTORS

大和会の理念

生命の尊厳と人間愛

東大和病院 基本方針

1. 私たちは、利用者さまの権利を尊重し、誇りと責任を持って「利用される方々のために」を心がけます
2. 私たちは、急性期医療を中心に、常に温かく質の高いサービスを目指します
3. 私たちは、保健・医療・福祉水準の向上のため、専門知識の習得や技術の研鑽につとめます
4. 私たちは、地域の医療機関や施設と連携し、信頼される地域医療を推進します

東大和病院の指定・認定

- ・厚生労働省 基幹型臨床研修指定病院
- ・厚生労働省 DPC（診断群分類包括評価）対象病院
- ・日本医療機能評価機構 認定病院
- ・東京都 指定二次救急医療機関
- ・東京都 災害拠点病院
- ・東京都 地域医療支援病院
- ・東京都 紹介受診重点医療機関
- ・東京都 CCU連絡協議会東京都CCUネットワーク加盟認定施設
- ・東京都 CCU連絡協議会急性大動脈スーパーネットワーク緊急大動脈支援病院
- ・東京都 脳卒中急性期医療機関（rt-PAの実施あり）
- ・東京都 がん診療連携協力病院（指定するがん種：大腸がん）
- ・東京都 認知症疾患医療センター

Medical Policy

当院の急性期医療

東大和病院では、当院の主な役割を救急と紹介を中心とした急性期医療と考えています。病状の安定した外来患者さまについては、近隣の診療所等へ紹介しています。

定期的な検査などは必ず当院で行い、緊急の場合は、24時間体制で対応しています。救急車も年間5,000台以上受け入れています。



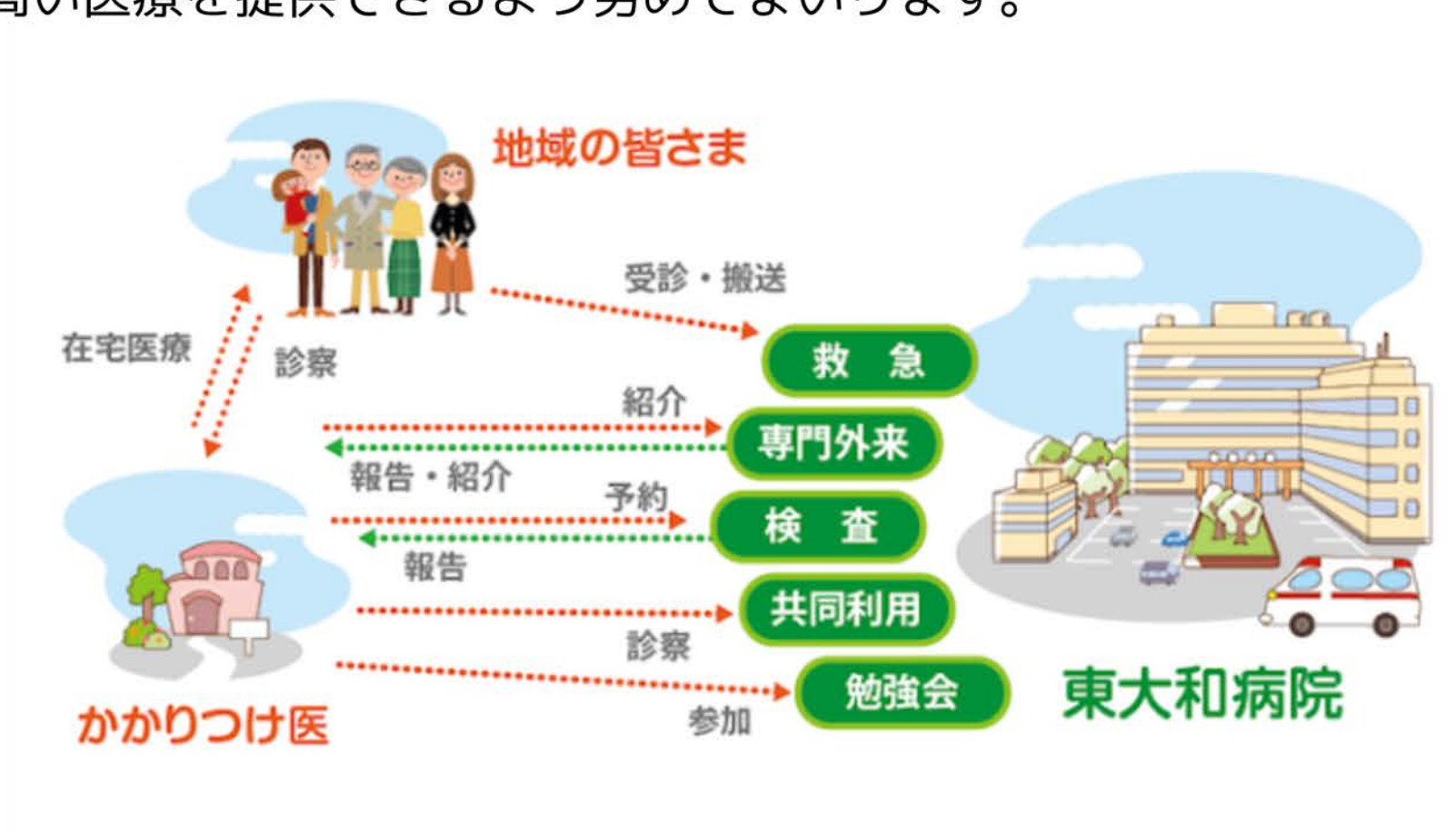
東京都災害拠点病院

局地的、地域的な大規模災害が発生した場合、被災した地域住民は災害弱者に陥ります。そのような事態に備えて被災した人たちのため東大和病院は人的、物的な対応を実施しています。年1回、行政や医師会との連携確認や市民の方にも参加していただき、トリアージ訓練を実施しています。また、年に数回、東京都や地域の医療圏の医療機関と通信訓練を実施しています。

地域医療支援病院として

東大和病院は、東京都知事より2016年2月16日付で「地域医療支援病院」として承認されました。

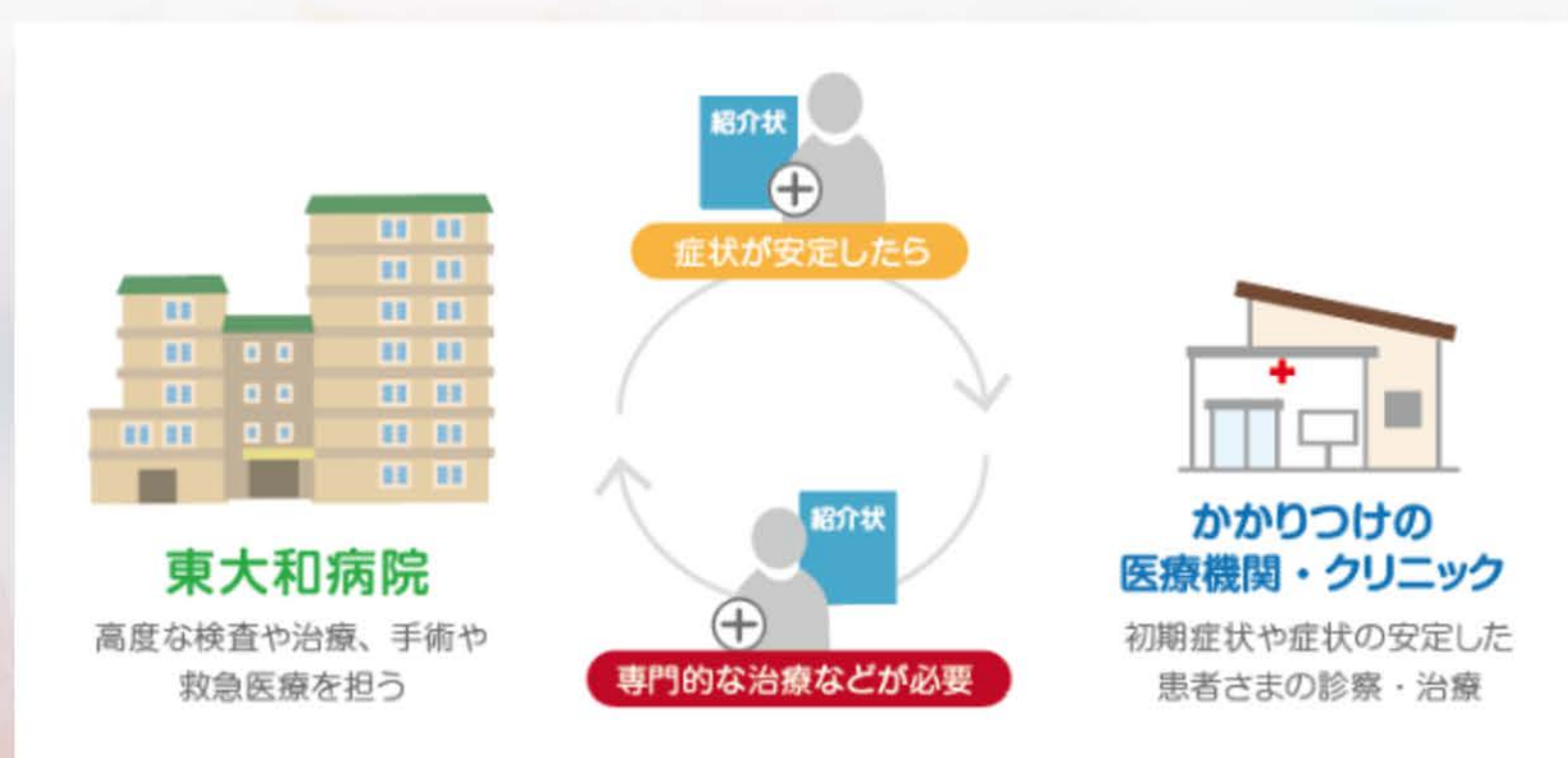
今後も引き続き、地域の医療機関と密接に連携をしながら、地域の皆さまに、より安心・安全で質の高い医療を提供できるよう努めてまいります。



紹介受診重点医療機関としての取り組み

東大和病院は、2023年8月1日に紹介受診重点医療機関に指定されました。

「紹介受診重点医療機関」は、国の医療制度見直しにより新設された制度で、外来受診の際に原則として、紹介状が必要となる医療機関です。地域のかかりつけ医療機関との連携を基に、東大和病院では手術・処置や化学療法等の高度な医療機器・設備を必要とする診療を行います。



手術統計

(2019年度～2023年度)

科別年間手術件数（血管内手術は含まず）

単位（件）

	手術件数								
	消化器外科	乳腺外科	形成外科	整形外科	泌尿器科	脳神経外科	心臓血管外科 循環器科	呼吸器外科	年間 総手術件数
2019年度	399	56	543	678	254	114	76		2,120
2020年度	318	59	316	594	211	115	82		1,695
2021年度	379	67	369	731	22	101	80		1,749
2022年度	383	74	415	737	22	98	82	85	1,896
2023年度	385	74	260	749	17	69	99	95	1,748

※泌尿器科は2021年1月に武蔵村山病院 泌尿器科と統合し外来診療のみとなった
※呼吸器外科は2022年4月から診療開始

麻酔

単位（件）

	全麻	腰麻	その他
2019年度	1,412	16	667
2020年度	1,209	11	452
2021年度	1,238	8	525
2022年度	1,303	10	610
2023年度	1,291	13	464

※血管内手術、ペインクリニック含む

その他の手術

単位（件）

	形成レーザー	大腸EMR	胃EMR
2019年度	63	450	2
2020年度	76	235	2
2021年度	100	239	5
2022年度	89	234	1
2023年度	1	216	0

学会認定

- ・日本内科学会 教育関連病院
 - ・日本糖尿病学会 認定教育施設
 - ・日本循環器学会 認定循環器専門医研修施設
 - ・日本不整脈心電学会 不整脈専門医研修施設
 - ・日本外科学会 外科専門医制度修練施設
 - ・日本胸部外科学会教育施設
 - ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 基幹施設
 - ・日本消化器外科学会 専門医制度指定修練施設
 - ・日本消化器病学会 専門医制度認定施設
 - ・日本消化器内視鏡学会 指導施設
 - ・日本がん治療認定医機構 認定研修施設
 - ・日本乳癌学会 認定施設
 - ・日本脳神経外科学会専門医指定訓練施設
 - ・日本神経学会 認定准教育施設
 - ・日本脳卒中学会 一次脳卒中センター（PSC）
 - ・日本整形外科学会 専門医研修施設
 - ・日本手外科学会 基幹研修施設
 - ・日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医関連認定施設
 - ・日本泌尿器科学会 専門医拠点教育施設
- ・日本麻酔科学会 麻酔科認定病院
 - ・日本歯科麻酔学会 歯科麻酔科研修機関
 - ・日本超音波医学会 専門医研修施設
 - ・日本超音波医学会 研修基幹施設
 - ・日本病態栄養学会 病態栄養専門医研修認定施設
 - ・日本医学放射線学会 画像診断管理認証施設（MRI安全管理に関する事項）
 - ・日本クリニカルパス学会 法人会員
 - ・日本循環器学会ウォッチマン実施施設
 - ・日本不整脈心電学会 クライオバルーン実施施設
 - ・日本不整脈心電学会 レーザーバルーン実施施設
 - ・日本心血管インターベンション治療学会 研修施設
 - ・関連10学会構成ステントグラフト実施基準管理委員会 腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
 - ・関連10学会構成ステントグラフト実施基準管理委員会 胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
 - ・4学会構成浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
 - ・日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会 インプラント実施施設
 - ・日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会 エキスパンダー実施施設

地域について

多摩地区の自然豊かなベッドタウン

「東京 ゆったり日和 東やまと」というフレーズを市のブランド・メッセージとしているほど、東京の都市でありながら、ゆったりと落ち着いていて、子育てしやすい、住みやすい街となっています。

市の約半分が公園や緑地、多摩湖となるほど自然豊かです。多摩湖に至っては3.1km²という圧巻の大きさで、一見の価値があります。外周がジョギングコースになっており1周約12kmと体力づくりにも理想的です。東大和市は“水辺の街”としての魅力もあります。

東大和市外になりますが、多摩湖の北部には西武園ゆうえんちや西武ドームなどアミューズメント・レジャー施設があります。

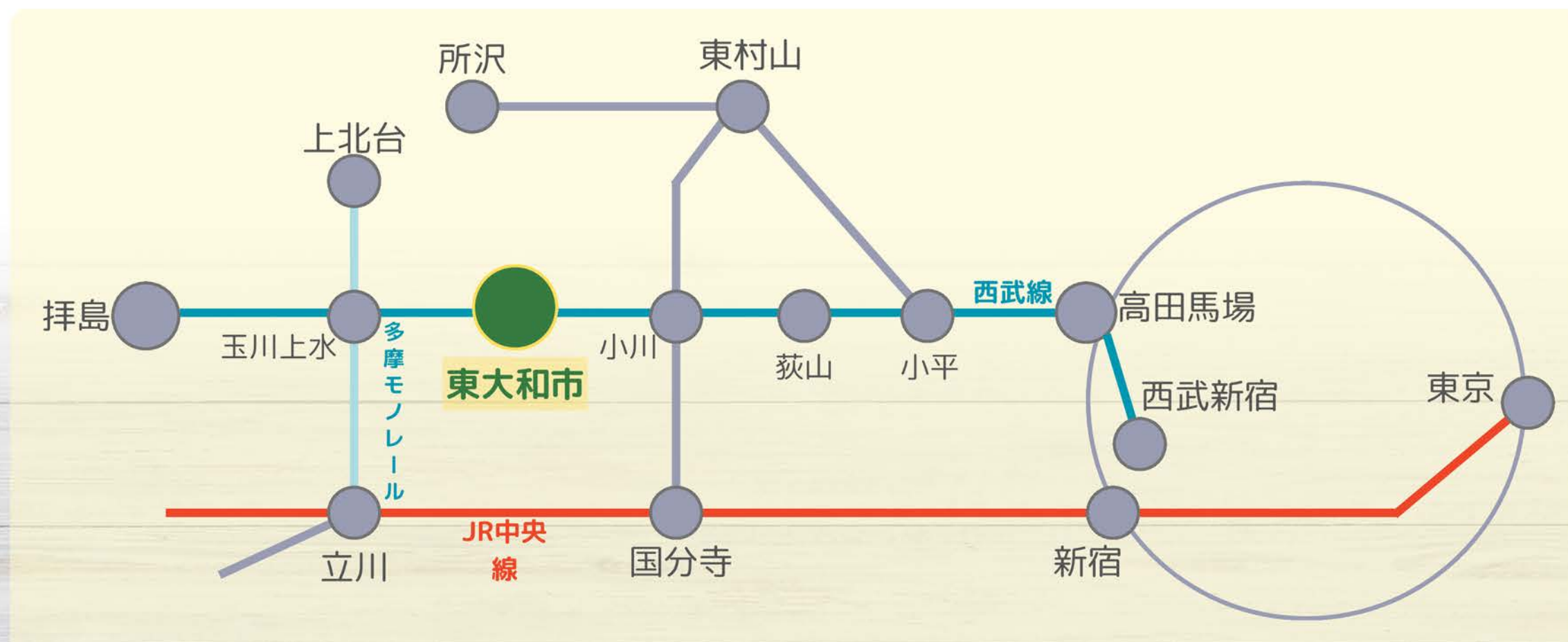
子育て支援も市を上げて充実させています。**特に共働きの家庭をサポートする子育て支援**が進んでおり、病児・病後児保育のお迎えサービスや学童以外の放課後子ども教室や児童館のランドセル来館事業など、働く保護者をサポートする支援が多く整っています。



西武線・JR中央線からのアクセス便利なロケーション

子育て世代の先生方には、隣接する国立、国分寺など文教地区としても人気があるエリアに住まわれる方も多く、中央線沿線というブランドを魅力に感じられる方が多いです。当院への通勤も車で15分程度で非常に便利です。

西武新宿線に乗り入れしている西武拝島線 東大和市駅から「高田馬場」駅や「西武新宿」駅まで直通で30分台、バス利用でJR立川駅まで20分台で行くこともできます。多摩モノレールを活用するとららぽーとやグリーンスプリングスなどが誕生した立川エリアへも10分程度で行くことができます。都心への通勤通学も便利がよく、プライベートも十分に便利な交通網が整っています。



院長インタビュー

地域医療の中核を担う、市内唯一の急性期病院

—— ご入職の経緯を教えてください

私が入職したのは、今から20年前のことです。心臓血管外科が専門ですが、知人であった当院の前任医師が退職するにあたり、その後を引き受ける形で着任しました。

—— どのような患者さんがお越しになりますか

当院は東大和市で唯一の総合病院であり、急性期病院です。そもそも、市内に病院は当院しかなく、隣接する武蔵村山市も含めて市立病院が存在しません。当院と武蔵村山市にある同法人の武蔵村山病院とで連携しながら、この地域の市民病院的な役割を果たしています。

医療機能としては、当院は急性期に特化しており武蔵村山病院はケアミックス型の病院です。

北多摩西部医療圏の人口約64万人のうち、東大和市と武蔵村山市を合わせた約15万人、医療圏の4分の1をカバーしています。



—— 患者層について伺います

患者層は高齢化しています。80歳くらいの患者さんは普通ですね。高齢化社会に合わせて医療も変わってきており、例えば、以前は全て切っていた症例もカテーテル治療で治すなど低侵襲の医療が脚光を浴びています。低侵襲であることで高齢者にも適用できるわけです。当院でもダビンチXiを導入したロボット支援手術などを行っていますが、時代に合わせて医療技術もアップデートされていっていることは喜ばしく思っています。

—— 働く上での貴院の特徴があれば教えてください

1人の医師に負担が集中しないよう、救急・当直の体制が確立されています。日中は救急の先生が初期対応にあたり、必要に応じて専門の診療科に引き継ぐいわゆる2階建ての体制です。

夜間は当直専門の非常勤の先生が来られていて、そのフォローとして常勤医が泊まっています。ですから当直業務は非常勤の先生が来るまでと帰った後の対応がある程度で、当直中も十分に身体を休められます。宿日直許可も取れていますしね。

さらに脳と心臓は24時間365日、それぞれ必ず誰かが常駐していますので、困った症例は全てお願いすることができます。こうした常時4～5名の当直によるバックアップ体制があるからこそ、非常勤の先生も安心して当院に来てくれていますし、ためらうことなく救急を受け入れられるのです。



—— 当直医の専門でない患者さんが来た時はどうされていますか

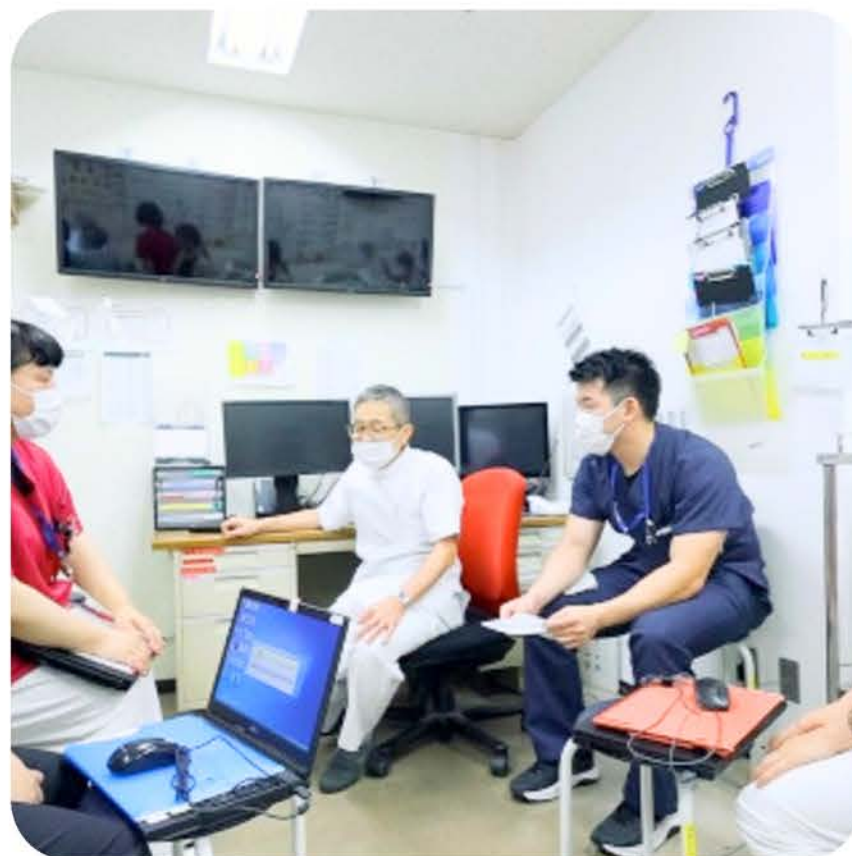
オンコール表をもとに当該科の先生にコールしています。たまに循環器などで出動がありますが、大部分は電話対応で終わることがほとんどです。出動した場合は、手術などの内容に応じた手当があります。

また眼科的な問題など、当院に診療科のないものは武蔵村山病院との病病連携で対応しています。病院救急車があり、武蔵村山病院への搬送や近隣クリニックの患者さんの引き受けなどに利用しています。

—— 地域との連携にも力を入れられているのでしょうか

市内唯一の急性期病院として、長年に渡り地元との連携も一生懸命築き上げてきました。東大和市医師会とも大変良好な関係性を構築していて、医師会との症例検討会や懇親会も定期的に行っています。今後は少し範囲を広げて、東村山市などの近隣医師会との関係も強化していきたいですね。

先生方においても、診療科によって取り組みに差はありますが、熱心な先生は地域連携室のスタッフと一緒に近隣クリニックとの交流の場を持たれています。こうした積極的な地域との関わりはぜひ続けていきたいと思っています。



—— 貴院の課題があれば教えてください

コロナ禍は、当院にも大きな影響を与えました。コロナ前には毎月外来にいられていた患者さんが今では2、3ヶ月に1度の頻度になるなど受診の仕方は変わり、病床稼働率もコロナ前と比べてまだ戻ってきていません。こうした状況を改善すべく、ここ1年で対策し始めたところです。

当院の救急車の受け入れ数は年間5,000台。全284床のうち31床がICU、HCU、SCU、その他は全て一般病床（7：1）になります。

この機能を維持していきたいと考えていますが、一方で、高齢化の進む時代に急性期だけでその全てを回すことは困難です。

だから慢性期に転換するということではなくて、低侵襲の医療などを地域のニーズや患者層に合わせてアップデートしていく必要があることを意味します。

そのためには新しい設備を取り入れ、ハード面も強化したいと考えていますが、検討には少し時間がかかります。

今すぐに始められる取り組みとしては、人材の面から新たな風を吹き込んでいこうと医師の採用を進めています。



院長インタビュー 2

自由な雰囲気の中、 新たな医療も実践できる

—— どのような先生にお越しいただきたいですか

高齢化社会ではスタッフも高齢化し、現在、当院の医師の平均年齢は40代後半です。私たちにはこれからも地域の急性期医療の要であり続けるという使命がありますので、この思いを受け継いで地域に深く根ざし、地域のために尽力いただける次世代の若い力を期待しています。先生方に求めるのは「地域医療に貢献したい」という意欲、そしてこれは研修を修了した研修医に私がいつも贈る言葉なのですが、医師である前に良き社会人であってほしいということです。例えば、一人ひとり違う個性を持つ職員をまとめ上げ、同じ方向を向いて邁進していくためには組織のルールが存在します。こうしたルールを当たり前のこととして守れる人です。そして患者さんだけでなく職員も含めて、しっかりとコミュニケーションが取れる社会性を疎かにしないでいただきたいですね。

—— 大変穏やかで気さくな院長先生で、私が思う心臓血管外科の先生のイメージが変わりました。

職場全体の風土としても非常に風通しが良さそうですね

本当に当たりの前のルールさえ守ってもらえれば、基本的には垣根の低い病院です。私が「これはダメ」ということもありませんので、提案してもらえれば先生のやりたいことを実現できる自由度は高いですね。当院でやっていないことを新たにやるために来てもらっても構いません。「これが得意だけど、この病院はやっていないから向いてないな」という風には考えないでいただきたいです。

—— 医師同士の関係はいかがでしょうか

医局の雰囲気が良いことは、大きな病院にはない当院の良さです。

一部、医局派遣の診療科もありますが、大体は紹介会社経由などでさまざまなところから入職されているため排他的な雰囲気ありません。

病棟や外来がない時は医局に集まって雑談したりお昼を食べたりしていますし、他科コンサルももちろんできます。会議はそれぞれの診療科での症例検討会、全ての医師が参加する月に1度の医局会と診療会議を実施しています。



—— 最後にメッセージをお願いします

地域の急性期医療に貢献しながら、自分の目標とする医療を思う存分実現してみたいという先生には、大変やりがいを感じていただける職場です。

ぜひ一度、見学にお越しくください。新たな若い力に出会えることを期待しています。

募集要項

東大和市で唯一の総合病院であり、急性期病院
医師負担軽減体制も構築されており
自由な風土で目指す医療に挑戦できる環境です

【求人条件(全科共通)】

- 就業場所**：社会医療法人財団大和会 東大和病院
- 勤務日数**：週5日 ※週4日・4.5日応相談
- 勤務時間**：月～土 8：30～17：00
- 休憩時間**：60分（概ね12時～13時）
- 当直回数**：月2～4回（診療科によって免除可能な場合あり）
- 当直体制**：4名体制＋研修医
(1)救急対応：非常勤医師 (2)管理当直：常勤医師 (3)SCU担当1名
(4)ICU担当1名 (5)研修医
- 基本給与**：1,200～1,850万円 ※ご経験・実績に応じて相談可能
- 当直手当**：別途支給
当直：平日44,000円、土曜59,000円、日祝59,000円（当直）
- オンコール**：各科あり
脳神経外科および心臓血管外科は24時間365日オンコール可能
- その他**：当直ができる週4日勤務などの先生もご相談ください。

▼救急科

- 勤務開始**：随時
- 募集背景**：医師体制強化の為の増員募集です。40代前半までの若手医師、もしくは科のマネジメントを担当いただける50代前半までの医師を募集します。
- 勤務時間**：8：30～17：00（休憩時間概ね12：00～13：00）
- 休日**：日曜日、祝日、その他1日／週
- 勤務内容**：救急科医師業務全般
救急対応
救急台数：5,591台／年※全科合計（2023年度実績）
- 基本給与**：1,200～1,850万円
※ご経験・実績に応じて相談可能（当直料別途支給）

募集要項 2

▼消化器内科

勤務開始 : 随時

募集背景 : 医師体制強化の為増員募集です。30～40代の先生歓迎！
大病院と比較しても遜色ない設備と症例数を担保しながら
ワークライフバランスを実現した働き方が可能です。
30～40代の先生歓迎（50才ぐらいまで）

勤務時間 : 8：30～17：00（休憩時間概ね12：00～13：00）

休日 : 日曜日、祝日、その他1日／週

勤務内容 : 消化器内科医師業務全般

外来（病院真向かいのクリニックでの外来）

担当コマ数：2コマ、外来患者数：8～12人／コマ

内視鏡検査：担当コマ数：3コマ程度

検査数：(2023年実績)上部3,376件、下部2,514件

超音波内視鏡50件、ERCP141件

病棟管理：担当患者数：7名前後（主治医制）

基本給与 : 1,200～1,850万円

※ご経験・実績に応じて相談可能（当直料別途支給）

▼心臓血管外科

勤務開始 : 随時

募集背景 : 現在院長先生、副院長先生＋大学からの非常勤Dr.で円滑
に行っていますが、将来的な医師体制構築の為、常勤での
医師採用を検討しています。若手～40歳ぐらいまで。

勤務時間 : 8：30～17：00（休憩時間概ね12：00～13：00）

休日 : 日曜日、祝日、その他1日／週

オンコール : シフト制（24時間365日対応）

勤務内容 : 心臓血管外科医師業務全般

外来：担当コマ数：1～2人、外来患者数：2～3人／コマ

病棟管理：担当患者数：2～3人／日／チーム制

手術：手術件数211件／年（2023年実績）

主な疾患：虚血性心疾患、腹部大動脈瘤、胸部大動脈瘤、など

基本給与 : 1,200～1,850万円

※ご経験・実績に応じて相談可能（当直料別途支給）

▼脳神経内科

勤務開始：随時

募集背景：医師体制強化の為、増員募集です。

※子育て中で時短勤務、当直なし勤務をご希望の方もぜひご相談ください。

勤務時間：8：30～17：00（休憩時間概ね12：00～13：00）

休日：日曜日、祝日、その他1日/週

勤務内容：脳神経内科医師業務全般

外来（病院及び病院向かいのクリニック）

担当コマ数：3～5コマ/週（物忘れ外来含む）

外来患者数：5～10人/コマ

・パーキンソン病などの神経難病、神経筋疾患

・物忘れ外来

病棟管理

担当患者数：5人/日程度

・神経難病、脱髄疾患、脳卒中予後等

基本給与：1,200～1,850万円

※ご経験・実績に応じて相談可能（当直料別途支給）

▼脳神経外科

勤務開始：随時

募集背景：医師体制強化の為の増員募集です。血栓回収療法を担当いただける40代後半までの医師を希望です。

勤務時間：8：30～17：00（休憩時間概ね12：00～13：00）

休日：日曜日、祝日、その他1日/週

オンコール：シフト制（24時間365日対応）

勤務内容：脳神経外科医師業務全般

外来：担当コマ数：1～2コマ

外来患者数：10～15人/コマ

病棟管理：担当患者数：7～9人/日/チーム制

手術：手術件数92件/年（2023年実績）

主な疾患：硬膜下血腫、脳梗塞、脳動脈瘤など

救急対応：救急台数1,036台/年（2023年実績）

基本給与：1,200～1,850万円

※ご経験・実績に応じて相談可能（当直料別途支給）

募集要項 3

▼呼吸器内科

勤務開始：随時

募集背景：医師体制強化の為、増員募集です。
40～50代前半くらいまでの先生歓迎です

勤務時間：8：30～17：00（休憩時間概ね12：00～13：00）

休日：日曜日、祝日、その他1日/週

勤務内容：呼吸器内科医師業務全般

外来：担当コマ数：2～3コマ

外来患者数：12～15人/コマ

病棟管理：担当患者数：6～7人/日/チーム制

救急対応：救急台数332台/年（呼吸器内科・外科合計）（2023年実績）

基本給与：1,200～1,850万円

※ご経験・実績に応じて相談可能（当直料別途支給）

▼呼吸器外科

勤務開始：随時

募集背景：医師体制強化の為、即戦力として経験のある先生を募集。
目安：40代後半以上の先生

勤務時間：8：30～17：00（休憩時間概ね12：00～13：00）

休日：日曜日、祝日、その他1日/週

勤務内容：呼吸器外科医師業務全般

外来：担当コマ数：1～2コマ

外来患者数：8～12人/コマ

病棟管理：担当患者数：3～4人/日

手術：手術件数97件（うち腹腔鏡下手術82件）/2023年実績

主な疾患：肺がん、自然気胸、肺膜病変など

救急対応：救急台数332台/年（呼吸器内科・外科合計）（2023年実績）

基本給与：1,200～1,850万円

※ご経験・実績に応じて相談可能（当直料別途支給）

▼一般内科(総合診療科)

- 勤務開始**：随時
- 募集背景**：救急外来にて初期対応をご担当頂ける内科系のいずれかの診療科の専門医資格をお持ちの先生を募集
- 勤務時間**：8：30～17：00（休憩時間概ね12：00～13：00）
- 休日**：日曜日、祝日、その他1日/週
- オンコール**：なし
- 勤務内容**：一般内科（総合診療科）医師業務全般
外来：担当コマ数：救急科として2コマ程度
+セントラルクリニック外来2コマ程度
外来患者数：5～15名/日
病棟管理：担当病棟：一般病棟
担当患者数：要相談
1,200～1,850万円
- 基本給与**：※ご経験・実績に応じて相談可能（当直料別途支給）

▼放射線科

- 勤務開始**：随時
- 募集背景**：医師体制強化の為増員募集。IVRを担当いただける先生歓迎。
- 勤務時間**：8：30～17：00（休憩時間概ね12：00～13：00）
- 休日**：日曜日、祝日、その他1日/週
- 勤務内容**：放射線科医師業務全般
読影（2023年実績）
X線：30,340件
胃透視：616件
C T：13,591件
M R I：3,329件
血管造影：1,218件
E R C P：143件
骨密度：1,699件
- 基本給与**：1,200～1,850万円
※ご経験・実績に応じて相談可能

募集要項・福利厚生

■非常勤 ▼腎臓内科

- 勤務開始 : 随時
- 募集曜日 : 水曜もしくは土曜
- 勤務時間 : 8:30～12:30
- 休憩時間 : なし
- 勤務内容 : 透析管理／1クール 12ベッド
病棟管理／腎臓内科、心臓血管外科、循環器内科からの
コンサル依頼があった場合はご対応をお願いいたします。
- 備考 : 腎臓内科専門医資格をお持ちであればベターです。
- 基本給与 : 基本給与 : 40,000～50,000円

福利厚生・支援制度（全科共通）

- 契約期間の定め : なし
更新上限なし（但し65歳定年）
- 休日 : 日曜日、祝日、その他1日/週
- 休暇 : 夏季休暇（有給充当）
年末年始休暇（12/30～1/4）
有給休暇（初年度12日、最高40日）
- 退職金制度 : あり（勤続3年以上で支給）
- 各種保険 : 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
- 赴任手当 : なし
- 住宅手当 : 有（病院5km圏内の賃貸住宅に本人名義でお住まいの場合、
家賃の半額最大¥60,000-まで支給）
- 通勤手当 : 6ヶ月定期代またはガソリン代を支給
- 扶養手当 : なし
- 時間外手当 : 80時間以上の残業に支給
- 学会参加 : 規定により¥100,000-／年を限度に出張経費を補助する。
（初年度は入職月により当上限額が異なる場合あり。）
- 賞与 : なし
- 昇給 : 年1回（但し、医師免許取得後25年目まで）
- 育児支援 : なし
- 駐車場 : 駐車料金負担¥3,000-／月
- 医局派遣 : 杏林大学（整形外科・麻酔科）、埼玉医科大学（脳神経外科）
- 定年制度 : 65歳（再雇用制度の有無：有）※70歳までの延長雇用制度有
- 試用期間 : 3ヵ月
- 時間外勤務 : 発生することがある
- 固定残業代 : 固定残業時間80時間／月は年俸に含む
※超過分は全額支給します。
- 給与〆支払日 : 当月末日締め、翌月15日払い
- 受動喫煙対策 : 敷地内禁煙／喫煙室の設置（無）
- 自己都合退職 : 3ヶ月前までに申し出ること

施設概要

- 施設名：社会医療法人財団大和会 東大和病院
- 住所：〒207-0014 東京都東大和市南街1丁目13-12
- 開設：1951年
- 理事長：大村 孝志（消化器外科／北海道大学／昭和58年卒）
- 病院長：野地 智 （心臓血管外科／名古屋大学／昭和60年卒）
- 救急指定：2次救急指定
- 病床種別：284床（一般病床253床・ICU5床・HCU14床・SCU12床）
- 宿直許可：取得済（時間帯：全曜日/17:00～翌8:30）
- 診療科目：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、腎臓内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科、ペインクリニック外科
- 施設HP：<https://www.yamatokai.or.jp/higasiyamato/>
- カルテ：電子カルテ（メーカー：ソフトウェアサービス）
- 主な医療機器：①手術機器
手術支援ロボット、ハイビジョン腹腔・胸腔内視鏡手術システム
全身麻酔器、手術用顕微鏡、超音波メス、3D腹腔鏡カメラシステム
人工心肺装置、アブレーション式血管形成用カテーテル
エキシマレーザー血管形成装置、CARTO3システム
3D超音波診断装置、脊椎内視鏡システム
- ②放射線機器
MRI（3.0T）×1台、MRI（1.5T）×1台
CT（320列）×1台、CT（64列）×1台、CT（128列）×1台
X線テレビ装置（FPD搭載）、一般撮影装置
血管連続撮影装置×2台、マンモグラフィ
- 診療実績：（2023年度）
1日平均外来患者数：約200人 1日平均入院患者数：約13.6人
病床稼働率：一般 75% 平均在院日数：一般14.3日
年間救急搬送台数：約5,000～6,000台（約 月500台）
- 医師体制：（2024年3月現在）
常勤40名／非常勤複数名 ※大学派遣複数名あり



アクセス

J R「立川駅」から路線バスで約25分

西武「東大和市駅」から路線バスで約5分 西武「東大和市駅」から徒歩12分

玉川上水駅から無料シャトルバスあり



求人に関するお問い合わせは

Rakusai RPO担当

江上・近藤

Email : rpo@mstage-corp.jp